

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	単位老人クラブ補助事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	社会奉仕や趣味、教養、各種スポーツやレクリエーションなどの活動を通して高齢者の交流と社会参加の場を増やす。						
事業の概要	単位老人クラブの活動費助成金として、さくら市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,296		2,022		2,106	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	単位老人クラブ会員数	人	795	765		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	年齢層の高い高齢者の集まりであり、老人クラブ数、会員数ともに減少傾向の一途である。自主運営や事業の支援を市が行うほか、他市の活動例を参考に、会員が増えてより積極的な活動ができるように、補助金の増額を図った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家福祉センター運営事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	高齢者等への健康増進、教養の向上や各種相談等を通し、明るい生活の営みに貢献する。						
事業の概要	高齢者及び身体障がい者福祉の増進、社会参加を促進するためにセンターを設置、運営する。（指定管理者：さくら市社会福祉協議会）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,637		5,117		5,187	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	年間利用者数（延べ）	人	8,657	2,661		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	趣味の講座やサロンを実施するなどの工夫で、多くの高齢者が健康増進、憩いの場としてセンターを利用し、十分な成果が出ている。※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染防止のため、講座及び団体利用回数が大幅に減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市いきいきクラブ連合会事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	単位老人クラブの連携の強化を図り、より活力あるものにする。						
事業の概要	各単位老人クラブの連合会である「いきいきクラブ連合会」へ、さくら市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき、活動費補助金として417,000円を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,554		2,721		3,005	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	年間延べ連携事業数	回	36	17		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	単位老人クラブといきいきクラブ連合会が連携して事業を行うことがその育成を図ることにつながっており、高齢者の生きがい活動の実施団体としての役割が果たしている。※令和2年度においては、県老連主催事業の全て・市連合会主催事業の多くが、新型コロナウイルス感染防止拡大防止のため中止となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生きがいセンター運営事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	高齢者が生きがいセンターを教養、創造活動の場として利用することにより、健康を維持し生きがいを持ってもらう。						
事業の概要	高齢者福祉の増進、社会参加を促進するためにセンターを設置、運営する。 （指定管理者：さくら市社会福祉協議会）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	528		528		528	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	年間利用者数（延べ）	人	2,081	931		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	多くの高齢者が憩いの場として利用しており、十分な成果がでている。趣味の講座等の実施により利用者が増えるように工夫をして施設の運営を図っている。※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染防止のため、大会の中止等により利用者数が大幅に減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	シルバー人材センター補助事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	シルバー人材センターを利用した高齢者の臨時的、短期的な就業機会を確保し、社会参加による生きがいの充実を図る。						
事業の概要	シルバー人材センターの適正な運営と事業促進を目的として、さくら市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき運営費補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9,600		9,600		9,600	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	シルバー人材センター就業延べ人数	人	28,432	26,643		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市がシルバー人材センター事業を支援することにより、高齢者の自立を支援し、生きがいを持って働くことができる場の提供ができています。※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業や業務が大幅に減少したため、就業人数も大幅に減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	温泉券発行事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	高齢者等に温泉券を配布することにより、健康の維持と生きがいの高揚を図る。						
事業の概要	市内に住所を有する、その年度内に満65歳に到達する者を含む65歳以上の高齢者等に温泉入浴利用証を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	35,507		26,271		30,135	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	支給件数	人	4,950	4,929		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業のPRは市広報や行政区回覧により充分に行っており、希望者や必要な方への交付はすべて行われている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	敬老会事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	長年にわたり社会に貢献してきた高齢者に敬意を表することにより、生きがい・励みを持ってもらう。						
事業の概要	長寿を祝う行事を各行政区単位で行った場合に奨励金を交付する。75歳以上の方に市から記念品を贈呈する。100歳の方・最高齢者等について市長が表敬訪問を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	11,749		12,131		13,716	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	敬老会記念品贈呈者数	人	5,853	5,844		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	長年社会の発展に尽くされた高齢者の方々に対し、長寿を祝う行事を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	介護予防普及啓発事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	宮野 直斗			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	ゆめ！さくら博の健康まつりや福祉まつりに出店し、健康づくりのための様々な取り組みを広く市民に知ってもらい、市民の健康、特に介護予防に対する意識の高揚を図る。						
事業の概要	健康まつり等で配布するパンフレット、パンフレットを入れるエコバッグ等の購入・配布。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	151		62		250	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	パンフレット配布数	部	600	200	600	600
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	健康まつり等が中止となったことで例年ほどの周知は出来なかったが、様々な機会にパンフレットを配布することで、市民に対し介護予防に関する普及啓発がある程度図れた。また、コロナ禍に行政区回覧（全戸配布）でフレイル予防の啓発を行ったことで、引きこもりによる体力の低下にある程度歯止めをかけられたと考えられる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	介護予防ボランティア養成事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	原田 祐太郎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	介護予防ボランティアの養成						
事業の概要	市が実施する介護予防教室等にボランティアとして関わっていただく方を養成。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	17		105		163	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	介護ボランティア養成講座受講者数	人	0	0	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	介護予防教室等に携わるボランティアが充足してきたことと、訪問介護員不足を考慮して入門的研修を中断し、生活援助従事者研修（59時間）を業務委託により実施。また、地域の通いの場等にはつらつ体操を広めるボランティアも養成。今後は、地域の通いの場のスタッフを対象とした研修の場の提供等を検討している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	認知症予防事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	原田 祐太郎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	認知症の予防						
事業の概要	定期的に教室を開催し、認知症の予防、仲間づくりを行う						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	872		824		1,484	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	脳わか教室参加人数（延べ人数）	人	139	59	140	140
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	高齢期、向齢期の市民が参加し軽度の運動や脳トレなどを行い、認知症の予防を計れた。しかし、コロナ禍のため自宅訪問形式の教室としたため、仲間づくりをすることはできず、参加延べ人数も少なくなった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域介護予防活動支援事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	宮野 直斗			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	地域住民が主体となり、介護予防に効果的な取り組みを行う高齢者サロン等に財政支援を行う						
事業の概要	65歳以上の方が5名以上参加している通いの場で、介護予防に効果が期待される運動・体操等を月2回以上定期的に開催する場合に運営費等を補助する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	403		474		3,912	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	補助対象の通いの場の参加者数 (延べ)	人	5,891人	1,203人	4,000人	4,500人
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	補助事業をきっかけとして、既存の通いの場において健康体操などを導入する傾向が見られたほか、新たな通いの場の設置にもつながっている。新型コロナウイルス感染症の影響で通いの場の運営が困難な状況となっているが、事業の継続を希望する通いの場については、感染症対策等の情報を代表者に提供し支援する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	一般介護予防教室事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	原田 祐太郎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	65歳以上の高齢者を対象に介護予防の運動や知識を学ぶ教室を開催						
事業の概要	水中ゆうゆうウォーキング、はつらつ元気塾、各地の通いの場等を訪問して実施する高齢者教室などを開催						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,786		2,388		3,181	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	元気塾参加者チェックリストの平均改善項目数	項目数	コロナで取得できず	△0.5項目	1.1項目	1.2項目
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	地域の通いの場における介護予防の取り組みが進んでいることにより、高齢課主催の一般介護予防教室の参加者数は微減傾向にあるが、近所に通いの場が無い方などの介護予防のきっかけづくりとして、各種教室が機能している。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で教室の開催が難しい状況となっているが、感染症対策を行いながら可能な範囲で事業を実施している。成果指標は、0.5項目の悪化となった。コロナ禍で、日常的に外出の機会が減少していることなどが原因と考えられる。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	趣旨普及事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	柴山 雅子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	介護保険対象者にサービスの利用方法・種別・手続き・費用・納付額などを周知する。						
事業の概要	介護保険制度周知用パンフレット及び介護保険料納付書送付時啓発パンフレットの作成。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	428		286		482	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	パンフレット等作成数	部	7,000	5,300		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	介護保険制度を周知するためのパンフレットや介護保険料納付書と伴に送付する啓発パンフレット等を作成した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	計画策定事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	柴山 雅子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	計画を3年毎に策定し、介護給付見込み及び社会情勢等を反映させた保険料の設定をすることにより、適正なサービスの供給を図る。						
事業の概要	3年間を計画期間とする高齢者福祉計画と介護保険事業計画を一体的に策定し、計画期間3か年における保険料の額や高齢者施策等についての指針を定める。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,035		3,413		120	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	作成委員会、幹事会開催件数	回	0	4		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和2年度の作成委員会等の開催回数：合議1回 書面3回開催。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	介護施設公募事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	柴山 雅子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	さくら市高齢者総合保健福祉計画に基づき、老人保健福祉施設を整備する法人を公平に選定する。						
事業の概要	老人保健福祉施設を整備する法人を選定するために法人審査委員会を開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	法人審査委員会開催回数	回	0	0	1	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域包括支援センター運営事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	篠原 悠太			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活が維持できるように、介護サービスや相談が受けられる。						
事業の概要	高齢者支援のための、総合相談、関係者とのネットワーク構築、高齢者の心身や生活状況の実態把握等を行い、適切な保健、医療、福祉等のサービス利用につなげる活動を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	32,033		32,045		31,091	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	総合相談件数	件	1,672	1,797	1,750	1,800
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	相談件数は増加傾向にあり、地域包括支援センターへの需要の増加がうかがえる。また、相談件数の増加だけでなく、相談内容も多様化しており、高齢者への支援だけでは解決しないケースも多い。コロナ禍で相談者との接触が難しい状況が続いており、包括職員の精神的な負担が増している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域医療介護総合確保基金事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	柴山 雅子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	身近な地域に介護サービス基盤を計画的に整備することで、サービスの充実を図る。						
事業の概要	市内に地域密着型特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護事業所を整備する法人を公募で募り、整備法人に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	施設整備率	%	100			
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	住宅改修支援事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	永井 聖子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	ケアマネジャーと契約をしていない要介護・要支援認定者の住宅改修サービスの利用を円滑にする。						
事業の概要	介護支援専門員と契約がない要介護・要支援認定者が住宅改修を行う場合に、改修費の給付を受け取るために必要な支給申請に係る理由書等を作成した者に対して補助金を交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		10	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	当該事業を利用し、住宅改修を行った人数	人	0	0		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	制度の説明と申請案内を、該当のある度に対象者へ行ったが、令和2年度申請者はなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	家族介護者教室事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	原田 祐太郎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	介護者の家族への負担軽減を図る。						
事業の概要	介護者家族の負担を軽減するための講演会や介護者家族同士の話し合いの場を設ける。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	58		71		115	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	家族介護者教室参加者数	人	22	20	20	20
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	エンディングノートに関する講座を開催し、これからの人生について家族と話し合うことの大切さについて理解を深めることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	認知症サポーター養成事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	原田 祐太郎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	認知症への理解促進を図ることで、認知症を患った方への適切な対応能力を身につける。						
事業の概要	全国キャラバン・メイト連絡協議会にて養成されたキャラバンメイトが、認知症に関する学習会（認知症サポーター養成講座）を開催し、地域の認知症サポーターを育成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	173		66		109	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	認知症サポーター数（延べ人数）	人	5,425	5,956	6,000	6,500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	認知症サポーター数を大幅に増やすことができた。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施が困難なことから、これまでのような人数の増加は困難となる見込み。オンライン開催なども実施予定。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	介護入門研修事業			事業開始年度			
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	篠原 悠太			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	介護サービスに従事する人材を育成する						
事業の概要	カリキュラムに基づく研修を開催し、緩和型サービスに従事する人材（生活支援サポーター）の養成を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	102		285		400	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	受講者数	人	6	0	11	12
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	生活支援サポーターとして認定するため、介護や介護予防に関する座学、介護施設などへの実習を行ってきたが、生活支援サポーターが充足してきたことと、訪問介護員の人材不足が顕著となってきたことにより、生活援助従事者研修の実施に切り替えた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	認知症総合支援事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	原田 祐太郎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	認知症の者や家族が地域で安心して暮らしていくための体制づくり						
事業の概要	認知症所初期集中支援チームの設置及び普及啓発。認知症地域支援推進員の配置し、認知症認知症の者の支援や体制の整備。認知症カフェによる地域支援活動。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,689		2,307		3,208	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	認知症カフェ設置数	設置数	2	2	2	2
	成果						
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民ボランティアによる認知症カフェの設置・運営が継続的に実施されている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	低所得者利用者負担対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	大谷 直生			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	低所得者に対し、サービス利用時の負担軽減を図る。						
事業の概要	社会福祉法人が生活困難者（低所得者）に対し、10%の利用者負担額、食費、居住費の軽減をした場合、その軽減分の一部を市が助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	24		306		270	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	利用者負担軽減者数	人	4	6	5	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	申請がなされ対象者に該当した6人に対し負担軽減確認証を発行し、社会福祉法人へ交付した。対象者に対する費用軽減に伴う社会福祉法人からの補助金交付申請は1件であった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	声かけ収集事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	大島 渉		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	高齢者世帯や障害者世帯の家庭ごみを戸別回収することにより、ごみ搬出に係る負担を軽減し、併せて安否の確認が行える。						
事業の概要	ごみの収集は、各利用者の希望する曜日に合わせ、週1回とする。臨時職員、1名体制。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,704		1,576		1,783	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	緊急連絡先への通報件数	件	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象世帯について、令和2年度中は、警察署又は消防署への緊急連絡はなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	在宅寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	対象者本人及び家族の紙おむつに要する費用の経済的負担を軽減し、高齢者等の福祉の向上と共に快適な日常生活を送れる状態とする。						
事業の概要	在宅・寝たきりで常時紙おむつが必要な方に、1カ月4,000円を限度とした紙おむつ給付券を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,811		6,860		7,011	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	紙おむつ給付券利用実績枚数（年度末）	枚	1,717	1,730		
	成果	紙おむつ給付額（年度末）	千円	6,799	6,849		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者本人及び家族の紙おむつに要する経済的負担が軽減できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	福祉タクシー事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	通院等で電車、バス等の交通機関を利用することが困難な高齢者等の交通の便の確保と一部経費を助成することにより、福祉の増進と快適な社会生活を送れるようにする。						
事業の概要	通院時介護が必要な65歳以上のみ世帯の方、重度障がい者の方にタクシー料金の基本料金を助成するタクシー利用券を年間4.8枚交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,267		6,588		6,810	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	福祉タクシー券利用実績枚数（年度末）	枚	8,445	8,796		
	成果	福祉タクシー助成額（年度末）	千円	6,210	6,510		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者本人の通院・処方薬の受取時の交通手段の確保と経済的負担が軽減できている					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	高齢者等在宅サービス総合事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	安全で安心な生活の確保と継続的な在宅生活が送れるようにする。						
事業の概要	各種在宅サービス（緊急通報装置貸与、給食サービス、生活支援サービス、住宅用火災警報器等購入助成等）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,780		5,411		6,230	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	緊急通報装置貸与事業決算額	千円	3,827	4,082		
	成果	給食サービス事業決算額	千円	809	1,133		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	高齢者のみ世帯の方や重度障がい者が在宅で自立した日常生活を営めるよう各種サービスを適宜実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	原田 祐太郎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	在宅による医療、介護を一体的に提供することができる体制の確立						
事業の概要	在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、医療、介護の連携のための検討を行っていく。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	150		484		388	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	在宅医療・介護連携推進会議開催数	回数	4	5	5	5
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	在宅医療・介護連携推進協議会において、医療と介護の連携について検討した。委員以外も参加できるオープンの事例検討会を開催した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	家族介護慰労金支援事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	要介護者を介護している家族に対し家族介護慰労金を支給し介護者の労をねぎらい家族の身体的・精神的及び経済負担の軽減を図ると共に要介護者の継続及び福祉の向上を図る。						
事業の概要	申請者に対して6ヵ月につき50,000円支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	350		200		400	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	敬老祝い金給付事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	長寿者に祝い金を支給することにより、長寿を祝福するとともに市民の敬老意識の高揚を図る。						
事業の概要	満88歳、満100歳の方を対象とし、年齢に応じた敬老祝い金を給付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	7,605		7,224		8,795	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	支給件数	件	230	215		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	長寿を祝福し祝い金を給付することにより、節目の年を当面の目標として生きがいを持ち過ごすことができるため、事業の成果はでている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	徘徊者等対策事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	西 重幸			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	認知症などにより徘徊のおそれのある高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。						
事業の概要	認知症見守りシール（反射ステッカー10枚セット）を配付し普段の持ち物に貼り使用する。利用者の情報は包括支援センター・警察署・消防署で共有する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	10		10		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	シール配付件数	件	3	4		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	配付件数の増加に向け、更に事業の周知を行っていく。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		